

7章 本年度AP事業実施記録

7. 1 学生の覚醒を促す学生向け講演の記録

| | | |
|----------------------------------|-------|--------|
| 絆岐阜ボランティアグループ代表/石巻市復興を考える市民の会副代表 | 横山暁仁氏 | p. 7-1 |
| 日本マイクロソフト株式会社業務執行役員・エバンジェリスト | 西脇資哲氏 | p. 7-5 |

7. 2 会議記録

| | |
|--------------------------|--------|
| AP推進室会議・OB検討会議・FD会議・講演会等 | p. 7-9 |
|--------------------------|--------|

7. 3 会計報告（本年度導入した主なICT環境改善の様子）

| | |
|------------|---------|
| 導入設備等の写真紹介 | p. 7-14 |
|------------|---------|

AP第2年度の平成27年度は、ボランティア活動、IT関係、医療関係、エネルギー関係など、各学年共通の課題や分野に特化した講演など、学生の覚醒を促すための講演会を引き続き実施してきました。高専卒業後はもちろん、上級生の進路選択の状況など、外部の一般講師と共に、卒業生の「生の声」も聞きたいとの要望が増しつつあります。

現役学生への大きな目標として、授業以外の講演会等での意識付けを、できれば希望者のみで実施する事を目指していきたいと思います。講師および関係者各位には改めてご協力に感謝します。本報告書の最初に述べてある「意識の覚醒」を学生はもちろん教職員も一丸となって、引き続き展開していきたいと思います。

東日本大震災における
ボランティアの
「今まで」と「これから」

絆岐阜ボランティアグループ 代表
石巻市復興を考える市民の会 副代表
横山 暁仁

宮城県石巻市について



- ・宮城県内の第2の都市(人口規模)
- ・人口約15万人(震災前より約1万人減少)
死者3277名 関連死268名 行方不明者428名
応急仮設住宅入居者 10563名(ピーク時16788名)
民間賃貸住宅入居者 9148名(ピーク時15482名)
(15年7月末現在)
- ・岐阜市から約760km(北陸道経由) 11~12時間
- ・漁業、水産加工業の街

被災写真①(石巻市大街道東地区)



2011年4月 各家庭から出されたガレキで路地は通行困難



2014年12月 路上に出されたガレキは撤去され、周辺の民家も一部解体されました。

被災写真②(石巻市鹿妻南地区)



2011年4月 海岸線から数百mの公園に流れ着いたガレキ



2014年12月 周辺の道路と共にすっかりきれいになっていました。

被災写真③(石巻市大街道南地区)



2011年4月 周辺の工場等から流れてきた木材、バルブ、タンク等



2014年12月 民家は解体され、その後かさ上げ道路が敷設されることになったため、軽車が伸び放題。

被災写真④(女川町市街地)



2011年6月 津波に押し倒され、数m潰されたビル。



2015年6月 震災遺構としての保存の議論もありましたが、解体され、約5mのかさ上げ工事の真っただ中です。

現状写真(2015年6月)



女川町市街地(かさ上げ工事中)



石巻市市街地(新規建設中)

2011年の活動①

- ・側溝掃除
- ・家屋修理の下処理



2011年10月 側溝掃除



2011年10月 家屋修理の下処理

2011年の活動②

- ・支援物資配布
- ・炊き出し
- ・ヨガ、お化粧品教室、クリスマスパーティ、餅つきなどのイベント



2011年8月 炊き出し



2011年8月 物資配布

2011年の活動

- ①生きるための支援活動
 - ・側溝掃除、家屋修理の下処理
 - ・支援物資配布、炊き出し
- ②安らぎのための活動
 - ・ヨガ、お化粧品教室
 - ・クリスマスパーティ
 - ・餅つきなどのイベント

2012年以降の活動①

- ・地域支援
- ・仮設住宅支援
- ・被災商店の販売支援など



2012年6月 和太鼓イベント



2012年8月 盆踊りイベント

2012年以降の活動②

- ・地域支援
- ・仮設住宅支援
- ・被災商店の販売支援など



2012年6月 サッカーイベント



2012年9月 マッサージ&肩カット

2012年以降の活動③

- ・地域支援
- ・仮設住宅支援
- ・被災商店の販売支援など



2013年12月 餅つき&サッカー交流



2012年12月 わはは体操

2012年以降の活動

- ①人間らしく生きるための支援活動
- ②引きこもり対策
- ③絆づくり
 - ・地域支援
 - ・仮設住宅支援
- ④上記の活動のコーディネート

2012年以降の活動③(地元での活動)

- ・被災商店の販売支援



2015年2月 写真展&物産展



2015年9月 イベント出店

活動掲載新聞記事



2013年9月11日 岐阜新聞朝刊



2015年3月6日 岐阜新聞朝刊

地元での活動

被災商店の販売支援

- ①被災商店の販売支援
- ②被災地にメッセージを届けるため
- ③被災地の現状を伝えるため
- ④地元でのネットワークを作るためなど

2012年～現在までの活動実績

- ①イベント出店(2015年は定期3/12、単発12)
- ②写真展(わおんさん、花の木さん、予約席さん)
- ③販売協力店舗(岐阜市5、大垣市3、江南市2)
- ④石巻の被災店舗の出店(2回、3イベント)
- ⑤新メンバー参加10名以上
など

ボランティアの意義

公共的なメリット

- ・出来ることを出来る範囲で支援
 - ・必ずしも平等、公平でなくてもよい
 - ・かゆいところに手が届く
- ・東日本大震災関連ボランティア 約145万人

個人的なメリット

- ・年齢、職業、性別、国籍など様々な人との出会い
- ・普段の仕事、学業では、経験できない活動

ボランティアバス

東北支援販売ボランティア

- | | | |
|-----------|--------|------------|
| 10月10、11日 | 神戸町 | どんとこい祭り |
| 18日 | 下呂市金山 | イコスタDEかなやま |
| 25日 | 揖斐川町谷汲 | アースデイいびがわ |
| 11月 1日 | 大垣市 | 元気ハツラツ市 |
| 8日 | 岐阜市東鶯 | 暮らしの陽だまり市 |
| 15日 | 揖斐川町谷汲 | 赤い電車まつり |

まとめ

ボランティア

- ・1年目、2年目以降と段階に応じて支援の内容が変わる
- ・がれき撤去だけが災害ボランティアではない。
- ・できることを無理せず、つづけること。

備え

- ・あらかじめ、人のつながりをつくっておくこと。
- ・被災状況、その後の対応を知る。

IT業界の最先端へ羽ばたく君たちへ —30年の経験を未来へつなぐメッセージ—

日本マイクロソフト
業務執行役員・エバンジェリスト
西脇 資哲



30年前のIT業界とは

- コンピューターシステムの本格的な登場
- 職業「システムエンジニア」の登場
- 1970年～80年は大幅なエンジニア不足と言われた
- 農業 → 機械 → コンピューター と言われた

30年前のIT業界キーワード

- メインフレームの登場
- 家庭用パーソナルコンピューターの登場
- オフィスコンピューターの登場
- COBOL、FORTRAN、PL/I、アセンブラ
- 紙テープ、8インチフロッピーディスク
- 情報処理技術者試験
- 日本IBM、日本電気、富士通、日立、日本ユニシス



30年前のIT系職業

- キーバンチャー
- プログラマー
- システムエンジニア
- オペレーター（運用）、教育
- カスタマーエンジニア（カスタマーサービス）
- コンサルタント



30年前のIT教育

- コンピュータハードウェアの仕組み、使い方
- コンピュータソフトウェアの仕組み、使い方
- プログラミング手法
 - COBOL、FORTRAN、アセンブラ言語

学べなかったこと、学びたかったこと

- 英語
- 業務知識
- 経営
- 拡大化と収益化
- コミュニケーション、プレゼンテーション
- 人脈形成
- 多様性
- 世界で何が起きているか？（グローバル目線）



外資系企業の代表的な特徴

- 英語
- 多様性
- 成果主義
- 年俸制
- 組織と役割分担の明確化
- 可視化と透明性
- Fire!

ORACLE®

Microsoft

雇用に対する考え方の変化

- 就職：終身雇用から“複業”時代へ
 - 一生に1社
 - 一生に5社
 - 同時に5つ
- 給与：年功序列から能力主義へ
 - 年齢でいろいろなことを決めるのではなく、能力と役割で決める
- 時間：決められた労働時間から裁量労働制へ
- 起業：やりたいことがあるならば起業すればいい



大きな意味で「IT業界」を分類してみると

- インターネット・通信キャリア
- 携帯電話端末・スマートフォン
- コンピューター・パソコン・サーバー
- クラウドコンピューティング
- IoT
- ソフトウェア
- ゲーム
- ポータル・ネット広告・検索・ソーシャルネットワーク
- ITサービス・サポート
- 事務機器
- EMS (Electronics Manufacturing Services)
- 半導体

実はこんなに複雑なんです



IT産業における B2B と B2C



企業向けとコンシューマー向けの違い

- 企業向け市場
 - 投資間隔が長い
 - 収益性が高い
 - 改善モデルを生かしやすい
 - 商品力だけではなく営業力強化（社員力強化）で実現できる
- コンシューマー市場
 - 製品開発サイクルが短い
 - 収益性が低い（あるいは読めない）、しかし時に爆発的なヒットを生む
 - 改善が生かせない
 - 顧客の多様性



ワークスタイルの例

- 06:00 起床、メールの確認、海外ニュース収集
- 07:00 出社、打ち合わせ、メール処理
- 12:00 昼食
- 13:00 調査、資料作成
- 15:00 移動、提案、プレゼン
- 19:00 帰社
- 22:00 米国との電話会議
- 01:00 資料の整理、翌日の準備

Skypeで世界中とコミュニケーションが当たり前



実際のSkype会議の様子

■時間、場所、手元のデバイスを選ばず会議

相手がどうい状況（席外し、休暇、携帯）であるかを常に表示



相手をすぐにビデオ会議で呼び出して会話および共同作業



必要な能力、必要な人材

■情報収集能力の高さ

- 知識/情報は最大の武器
- 知識/情報がどこにあるか、だれが知ってるかを知ってることも重要

■スピード感

- 行動しないと結果は残らない
- 早く行動し、わずかでも成果を手にしたほうがいい

■コミュニケーション、プレゼンテーション能力



残りの学生生活でやっておくべきこと

■経験/体験の強化

- 知る、参加する、触れる

■基礎的な知識の蓄積

- ネットワーク
- ハードウェアとソフトウェアの構造、仕組み、動き
- 組み立てる、分解する、また組み立てる (H/W も S/W も)

■英語

7. 2 会議記録

〈教育AP推進会議〉

第1回教育AP推進室会議

平成27年4月6日(月) 10:40~11:30

- ・前年度の反省
- ・本年度の事業確認
- ・予算執行計画について

第2回教育AP推進室会議

平成27年4月27日(月) 10:45~12:45

- ・シニアOB抽出44コンテンツの学習支援コンテンツの作成について
- ・学生向け講演と教職員FD活動の推進について

第3回教育AP推進室会議

平成27年6月1日(月) 10:45~12:00

- ・シニアOB抽出44コンテンツの学習支援コンテンツの作成について
- ・実践技術単位のサーバーの構築について
- ・予算執行計画と状況について

第4回教育AP推進室会議

平成27年6月29日(月) 10:50~12:10

- ・OB人材活用について
- ・今後の予定について

第5回教育AP推進室会議

平成27年8月10日(月) メール会議

- ・実践技術単位制度のデータベースについて
- ・OB人材活用について
- ・今後の予定について

第6回教育AP推進室会議

平成27年9月7日(月) 10:50~11:50

- ・各学科実践技術単位認定リストの作成状況について
- ・OB人材活用について
- ・今後の予定について

第7回教育AP推進室会議

平成27年10月5日(月) 10:50~12:00

- ・各学科実践技術単位認定リストの確認と審議
- ・OB人材活用について
- ・今後の予定について

第8回教育AP推進室会議

平成27年11月2日(月) 10:50~12:10

- ・岐阜高専実践技術単位統合版の各学科実践技術単位認定リストの確認
- ・シニアOB抽出項目のコンテンツ作成とCBT作成
- ・今後の予定について

第9回教育AP推進室会議

平成27年12月7日(月) 9:00~12:00

- ・報告会の日程と報告書の構成について
- ・タブレットの利用拡大について
- ・シニアOB抽出項目のコンテンツ作成とCBT作成
- ・学生自身による学修成果のデータベースへのコンテンツ集積の可視化

第10回教育AP推進室会議

平成28年1月25日(月)

- ・自律的な教室外学修時間の集計アンケートについて
- ・追加予算交付決定と予算執行状況について
- ・報告書目次案の確認等について

第11回教育AP推進室会議

平成28年2月8日(月)

- ・報告会日程と担当について
- ・報告書目次案の確定と原稿締切日について
- ・自律的な教室外学修時間の確認方法について
- ・ノートPC、タブレットPCの活用について
- ・LMSの活用について
- ・参加会でのAP事業報告について

第12回教育AP推進室会議

平成28年3月14日(月)

- ・予算執行について
- ・報告会の進行について
- ・来年度の事業について

7. 2 会議記録

〈シニアOB連絡会議〉

第1回シニアOB連絡会議

- 平成27年4月10日(金) 13:00~15:00
- ・前年度の反省
 - ・本年度の方針

第2回シニアOB連絡会議

- 平成27年5月8日(金) 10:00~12:00
- ・コンテンツ担当教員の紹介
 - ・学習支援コンテンツ案について

第3回シニアOB連絡会議

- 平成27年6月12日(金) 9:55~12:00
- ・学習支援システム(Moodle)の概要説明
 - ・学習支援コンテンツ作成及び問題作成について

第4回シニアOB連絡会議

- 平成27年7月10日(金) 10:00~12:00
- ・モデルコアカリキュラムについて
 - ・企業技術者一押し44課題の問題レベルについて
 - ・シニアOB作成問題の確認

第5回シニアOB連絡会議

- 平成27年8月7日(金) 10:00~11:50
- ・APの今後の展開について
 - ・ALコンテンツ問題集の確認や作成するにあたっての問題点

第6回シニアOB連絡会議

- 平成27年9月11日(金) 10:00~12:00
- ・入門・基準・発展の問題作成例の紹介
 - ・ALコンテンツ問題集の確認や作成するにあたっての問題点

第7回シニアOB連絡会議

- 平成27年10月9日(金) 10:00~12:00
- ・学習支援サイト(LMS)へのログインについて
 - ・ALコンテンツ問題集(シニアOB作成分)の確認

第8回シニアOB連絡会議

- 平成27年11月20日(金) 10:00~12:00
- ・教育AP推進室会議の報告
 - ・シニアOB作成コンテンツについて

第9回シニアOB連絡会議

- 平成27年12月11日(金) 10:00~12:00
- ・岐阜高専におけるAP事業の展開について
 - ・シニアOB作成コンテンツについて

第10回シニアOB連絡会議

- 平成28年1月8日(金) 10:00~11:00
- ・シニアOB作成コンテンツ進捗状況について
 - ・コンテンツに関する意見交換

第11回シニアOB連絡会議

- 平成28年2月12日(金) 10:00~12:00
- ・報告書掲載のシニアOBコンテンツ集C B T紹介の確認

第12回シニアOB連絡会議

- 平成28年3月10日(木)
- ・今年度の反省
 - ・来年度以降の活動について
 - ・報告会について

7. 2 会議記録

〈講演会・講習会等〉

◆平成 27 年度 F D 活動「第 1 回 F D 教科目連携協議会」

平成 27 年 5 月 7 日(木) 15:00~17:00

【場 所】図書館多目的ホール

【テーマ】「魅力ある授業のための取組みと英語の活用」

【演 題】『来年度から英語で授業を行ってください』と言われても困らないようにするために」

【講 師】坂 本 淳 (環境都市工学科 講師)

【演 題】「C T T+が教えてくれた魅力ある授業を行うために必要なもの
～アクティブラーニングや英語授業のための技術～」

【講 師】田 島 孝 治 (電気情報工学科 講師)

【対 象】全教職員

◆I C T 機器活用黒板利用講習会 (A P 機器利用説明会)

平成 27 年 5 月 20 日(水)

【場 所】2D 教室 (1 号館 1 階)

【講 師】電子黒板納入業者

【対 象】全教員

◆高専機構 BlackBoard 講習会 (入門)

平成 27 年 5 月 26 日(火)~28 日(木) 12:20~12:50

【場 所】図書館第 2 演習室

【講 師】小 川 信 之 アクティブラーニングWG長

【対 象】全教員

◆高専機構 BlackBoard 講習会 (中級)

平成 27 年 6 月 1 日(月)~3 日(水) 12:20~12:50

【場 所】図書館第 2 演習室

【講 師】小 川 信 之 アクティブラーニングWG長

【対 象】全教員

◆A L 関係ミニ講習会

平成 27 年 6 月 3 日(水) 17:00~

【場 所】大会議室

【講 師】A L 推進WG委員

【対 象】全教員

◆高専機構 BlackBoard 講習会 (上級)

平成 27 年 6 月 8 日(月)~10 日(水) 12:20~12:50

【場 所】図書館第 2 演習室

【講 師】小 川 信 之 アクティブラーニングWG長

【対 象】全教員

◆LMS講習会

平成27年6月8日(月)～10日(水) 14:10～14:40

- 【場 所】図書館第2演習室
- 【講 師】山田(博)e-learningWG長
- 【対 象】全教員

◆ICT機器活用講習会

平成27年9月24日(木)

- 【場 所】本校1号館教室
- 【講 師】ICT機器納入業者
- 【対 象】AL推進WG委員

◆ICT機器活用講習会

平成27年9月25日(金)、28日(月)～29日(火)

- 【場 所】本校1号館と2号館の第1～3学年の各教室
- 【講 師】ICT機器納入業者+AL推進WG委員
- 【対 象】全教員

◆平成27年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム」採択事業AP学生向け講演会

平成27年9月30日(水) 13:00～14:30

- 【場 所】図書館多目的ホール
- 【演 題】「IT業界の最先端へ羽ばたく君たちへー30年の経験を未来へつなぐメッセージー」
- 【講 師】西脇資哲氏(日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 エバンジェリスト)
- 【対 象】電気情報工学科第3学年・第4学年、電子制御工学科第3学年・第4学年、希望者

◆岐阜高専第3学年講演会

平成27年10月5日(月) 14:40～15:30

- 【場 所】図書館多目的ホール
- 【演 題】東日本大震災におけるボランティアの「今まで」と「これから」
- 【講 師】横山 暁仁氏(絆岐阜ボランティアグループ代表、石巻市復興を考える市民の会副代表)
- 【対 象】第3学年全学科、希望者

◆平成27年度FD活動「第2回FD教科目連携協議会」

平成27年10月14日(水) 15:00～16:00

- 【場 所】図書館多目的ホール
- 【演 題】「アクティブラーニングをアクティブに考える」
- 【講 師】廣内 大輔氏(岐阜大学 教育推進・学生支援機構 准教授)
- 【対 象】全教職員

◆全国高専第3ブロック第2回AL推進研究会

平成27年10月14日(水) 13:00～17:00

- 【場 所】大会議室
- 【演 題】「アクティブラーニングをアクティブに考える」
- 【出席者】近隣高専11校 28名

◆三菱重工業株式会社による特別授業

平成 27 年 12 月 17 日 (木) 14:40～16:10

【場 所】図書館多目的ホール

【演 題】「グローバル化」時代への対応～異文化社会との積極交流～

【講 師】丹羽 高興 氏 (三菱重工業株式会社技術統括本部技師長)

【対 象】機械工学科第 4・5 学年、電子制御工学科第 5 学年

◆学生向け講演会

平成 27 年 12 月 21 日 (月) 13:00～14:40

【場 所】図書館多目的ホール

【演 題】「医用画像のためのコンピュータ支援診断から多元計算解剖学まで」

-医工連携、産学連携、グローバル化- (電子情報通信学会の学生向け講演会)

【講 師】藤 田 広 志 氏 (岐阜大学大学院医学系研究科再生医科学専攻知能イメージ情報分野・教授)

【対 象】電気情報工学科第 4・5 学年、電子制御工学科第 5 学年

◆科学技術リテラシー教育実習成果報告会

平成 28 年 1 月 7 日 (木) 15:00～17:30

【場 所】図書館多目的ホール

【発表者】リテラシー活動実施の学生 11 グループ (専攻科生 1 グループ含む)

◆学生向け講演会

平成 28 年 1 月 25 日 (月) 14:00～16:30

【場 所】図書館多目的ホール

【演 題】「究極のエネルギー源を目指して-核融合研究の現状-」(電気学会の学生向け講演会)

【講 師】榊 原 悟 氏 (総合研究大学院大学・教授)

【対 象】電気情報工学科第 3 学年・第 4 学年

◆参与会

平成 28 年 3 月 4 日 (金) 15:00～17:00

【場 所】大会議室

【内 容】本校 A P 事業の経過報告と今後の予定を報告し、内容を審議し、外部評価を受ける

【参加者】本校外部評価委員である参与会メンバー各位と、本校側代表の各部門説明者

◆A P 報告会

平成 28 年 3 月 29 日 (火) 13:30～16:30

【場 所】図書館多目的ホール

【内 容】平成 27 年度本校 A P 事業の成果報告会および ICT 機器利用講習会

【講 師】教育 A P 推進室メンバー、メディア部門委員 (ICT)、e-learning WG 長 (LMS)、
実践技術単位制度サーバ担当者、情報処理センター機器更新納入業者など

【対 象】全教職員、外部希望者

7.3 本年度導入した主なICT環境改善の様子

平成27年度「大学教育再生加速プログラム」予算執行状況及び執行計画

平成28年2月末現在 執行状況及び執行計画

(単位:千円)

| 経費 | 費目 | 執行状況/執行計画 | | 品名 | 備考 | |
|--------|----------|-----------|--------|-----------------------|------------------|---|
| | | 金額 | 積算内訳金額 | | | |
| 物品費 | 設備備品費 | 7,252 | 7,252 | LCDプロジェクター(ホワイトボード等含) | ① | |
| | 消耗品費 | 8,305 | 4,536 | 4,536 | ノートPC(設定費含む) | ③ |
| | | | 2,168 | 2,168 | タブレットPC | |
| | | | 425 | 425 | 数学ソフトウェアライセンス | |
| | | | 578 | 578 | 書画カメラ | ② |
| | | | 102 | 102 | ホワイトボード用マーカー等 | |
| | | | 362 | 362 | タブレットPCマルチサイズケース | |
| | | | 134 | 134 | ノートPC収納キャビネット | |
| 人件費・謝金 | 人件費 | 1,852 | 1,852 | AP担当事務補佐員 | | |
| | 謝金 | 1,233 | 41 | 41 | 講義謝金 | |
| | | | 421 | 421 | シニアOB作業謝金 | |
| | | | 599 | 599 | シニアOB会議出席謝金 | |
| 旅費 | 旅費(国内) | 866 | 81 | 81 | 事業関連講習会・報告会参加旅費 | |
| | | | 640 | 640 | 研究会・発表会等参加旅費 | |
| | | | 27 | 27 | 招聘・派遣旅費(講演等) | |
| | | | 3 | 3 | コンテンツ登録作業旅費 | |
| | | | 115 | 115 | 会議出席旅費 | |
| その他 | 印刷製本費 | 830 | 830 | 成果報告書 | | |
| | 通信運搬費 | 13 | 12 | 12 | 成果報告書送送料 | |
| | | | 1 | 1 | その他郵便料金 | |
| | その他(諸経費) | 2,954 | 2,928 | 無線LAN(リース料金) | | |
| | | | 26 | 26 | APアンケート用チラシ | |
| 合計 | | 23,305 | | | | |

「大学教育再生加速プログラム」導入設備



①LCDプロジェクター



①LCDプロジェクターとホワイトボード(電子黒板)



②書画カメラ



③ノートPC